

接 続 検 討 申 込 書

東京電力パワーグリッド株式会社 御中

電気事業法等の関係法令、政省令その他ガイドライン、電力広域的運営推進機関の送配電等業務指針及び関係する一般送配電事業者又は配電事業者の約款・要綱等を承認の上、以下のとおり接続検討を申し込みます。

【申込者】

住 所 〒	3 3 7 - 0 8 0 7
	埼玉県川口市長蔵3-20-13
(フリガナ)	(カブシキガイシャグッドエネジー)
事 業 者 名	株式会社グッドエネジー
代 表 者 氏 名	代表取締役 山内 浩一

(1) 発電設備等設置者名又は発電者の名称 (仮称可)	(フリガナ) (カブシキガイシャグッドエネジー) 株式会社グッドエネジー 一般送配電事業者又は配電事業者の 同一法人又は親子法人等 該当有無
(2) 発電所名 (仮称可)	(フリガナ) (サイタマケンサイタマシイワツキククロヤダイイテケイトウヨウチクデンシヨ) 埼玉県さいたま市岩槻区黒谷第一系統用蓄電所
(3) 発電設備等設置場所の住所	埼玉県さいたま市岩槻区大字黒谷字八幡裏1588番2、1589番4、1596番1
(4) 連系先一般送配電事業者又は配電事業者	東京電力パワーグリッド株式会社
(5) 既設アクセス設備 ^{*1} の有無	無 ※1：アクセス設備：発電設備等を送電系統に連系するための流通設備
(6) 発電設備等変更の有無	新規 (変更「有」の場合の変更内容：)
(7) 契約種別 ^{*2} (予定)	一般送配電事業者又は配電事業者以外の事業者と受給契約を締結予定 (FIP制度の適用含む) ※2：入札の対象 (FIT/FIP) をご確認のうえ、選択して下さい。
(8) 負担可能上限額 ^{*3} (消費税等相当額含む)	100,000,000 円 ※3：接続検討の結果、ご提示いただいた負担可能上限額を超過する場合は、申込者の希望を満たしていないことから、「連系否 (連系不可)」として回答いたします。なお、この場合、検討料の返金はいたしません。
(9) 連系地点における最大の受電電力または 最小の受電電力が全量連系できない場合 の配電用変電所・配電塔 ^{*4} の増強 ^{*5} 希 望の有無 ^{*6}	希望する ※4：配電塔は、変電所の新設や設備の増強が困難な場所で、電気を供給するために設置する小規模で簡易な変電設備で、変電所の代替手段として使用されます。 ※5：増強とは、配電用変電所・配電塔の新設ならびに変圧器の増設・容量変更 (バンク逆潮流対策工事は除く) が対象です。なお、配電用変電所・配電塔の増強は、電源接続案件一括検討プロセス対象となる可能性があります。配電用変電所・配電塔は、「早期連系追加対策 (充電制限)」の適用対象外であるため、「早期連系追加対策 (充電制限)」の適用希望有無にかかわらず、増強が必要となる場合があります。 ※6：配電用変電所・配電塔の増強を「希望しない」を選択した場合において、接続検討の結果、増強が必要と判断された場合は申込者の希望を満たしていないことから、「連系否 (連系不可)」として回答いたします。なお、この場合、検討料の返金はいたしません。また、使用開始後3年以内の配電用変電所・配電塔の配電系統に連系すると判断された場合は、増強を「希望する・しない」にかかわらず、負担可能上限額により連系可否を判断いたします。
(10) 連絡先	【申込書に関する連絡先窓口】 住 所 〒 337-0807 埼玉県川口市長蔵3-20-13 事 業 者 名： 株式会社グッドエネジー 所 属： 代表取締役 担 当 者 名： 山内 浩一 電 話： 080-3537-2284 e - mail： koichi.yamauchi@genergy.jp 【申込書 (技術的事項) に関する連絡先窓口 (上記と異なる場合のみ記載)】 住 所 〒 337-0003 埼玉県さいたま市見沼区深作3-11-3 事 業 者 名： SequencEnergy株式会社 所 属： 代表取締役 担 当 者 名： 山本 耕司 電 話： 048-671-3166 e - mail： info@sequencenergy.com 【接続検討料請求書の送付先】 申込書に関する連絡先窓口と同じ 【接続検討回答書の送付先】 申込書 (技術的事項) に関する連絡先窓口と同じ
(11) 特記事項	・本システムは系統用蓄電所として接続検討申込をするものです。 ・蓄電池単独連系/全量売電 ・蓄電池特別措置適用の有無 (予定)：有 ・本系統用蓄電池は上位EMS (SCADA) により充放電を個別に有効電力設定可能です。 ・連系予定柱：黒谷137号柱 電制御装置による検討を希望します。 ・充

※電力広域的運営推進機関、一般送配電事業者又は配電事業者は、本申込書の情報を系統アクセス業務の実施のために使用します。

※記載内容について、虚偽が判明した場合は、申込は無効となる場合があります。

2026 年 10 月 6 日

発電設備等の概要

1. 希望時期

(1) アクセス設備 ^{※1} の運用開始希望日（一般送配電等側設備への接続希望日）	2027 年 9 月 20 日
(2) 発電設備等の連系開始希望日（試運転） ^{※2}	2027 年 9 月 21 日
(3) 発電設備等の連系開始希望日（営業運転開始日）	2027 年 10 月 1 日

※1：アクセス設備：発電場所と送電系統を接続する設備 ※2：運転開始前の試運転など、送電系統への送電電力を初めて発生させる希望日を記載

2. 希望受電電圧・予備電線路希望の有無

(1) 希望受電電圧 ^{※3}	6 [kV]
(2) 予備電線路希望の有無	無
希望する予備送電サービス（有の場合）	（有の場合のみ選択して下さい）
予備送電サービス契約電力（有の場合）	[kW]

※3：接続検討の結果、希望受電電圧以外となる場合もございます。

3. 電源種別

(1) - 1 新設・増設の電源種別

新設・増設する電源種別	蓄電池
特別措置の適用予定 ^{※10}	有（その他負荷「無」）
早期連系追加対策（充電制限）の適用希望 ^{※11}	希望する
備考欄	

(1) - 2 新設・増設の電源種別^{※8}

新設・増設する電源種別	初期設定は「なし」
特別措置の適用予定 ^{※10}	（揚水・蓄電池の場合のみ選択して下さい）
早期連系追加対策（充電制限）の適用希望 ^{※11}	（蓄電池の場合のみ選択して下さい）
備考欄	

(2) - 1 既設の電源種別（既設電源がある場合）^{※9}

既設電源種別	初期設定は「なし」
特別措置の適用予定 ^{※10}	（揚水・蓄電池の場合のみ選択して下さい）
備考欄	

(2) - 2 既設の電源種別（既設電源がある場合）^{※9}

既設電源種別	初期設定は「なし」
特別措置の適用予定 ^{※10}	（揚水・蓄電池の場合のみ選択して下さい）
備考欄	

※4：発電機定格出力1,000kWを超えるもの。 ※5：発電機定格出力1,000kW以下のもの。

※6：バイオマスに該当する廃棄物のみを燃焼するものを含みます。

※7：地域資源バイオマスに該当する場合は、様式1「(11)特記事項」にその旨記載願います。

なお、その場合で燃料貯蔵や技術に由来する制御等により出力抑制が困難となる見込みである場合も様式1「(11)特記事項」にその旨記載願います。

※8：新設、増設時に電源種別が複数ある場合は、「(1) - 2 新設・増設の電源種別」を使用ください。（初期設定は「なし」）

※9：既設電源種別について選択ください。既設電源種別が複数ある場合は、「(2) - 2 既設の電源種別」を使用ください。（初期設定は「なし」）

※10：電源種別が「揚水」または「蓄電池」の場合は、「特別措置の適用予定」の有無についてご選択ください。

なお、「有」の場合のその他負荷とは、揚水発電設備または蓄電池に付随する負荷以外の負荷を指します。

※11：電源種別が「蓄電池」の場合に「早期連系追加対策（充電制限）」の適用希望有無についてご選択ください。

早期連系追加対策（充電制限）とは、順潮流側混雑に対する早期連系対策として、特定の断面における充電を制限することへの同意等を前提に、

熱容量面の系統増強をすることなく系統接続を認める対策を指します。

4. 発電設備等の定格出力合計^{※12}

(1) 変更前	初期設定は「なし」	[台]	[kW]	([°C])	[kW]	([°C])	[kW]	([°C])
	初期設定は「なし」	[台]	[kW]	([°C])	[kW]	([°C])	[kW]	([°C])
(2) 変更後	初期設定は「なし」	16 [台]	(放電側) +2000 [kW]	([°C])	(充電側) -1964 [kW]	([°C])	[kW]	([°C])
	初期設定は「なし」	[台]	[kW]	([°C])	[kW]	([°C])	[kW]	([°C])

※12：ガスタービン等、外気温により発電出力が変化する場合には、各温度における発電出力を記載

5. 受電地点における受電電力（送電系統への送電電力）^{※13}

(1) 変更前	最大 ^{※14}	[kW]	([°C])	[kW]	([°C])	[kW]	([°C])
(2) 変更後	最大	1,991 [kW]	([°C])	[kW]	([°C])	[kW]	([°C])
	最小	-1,999 [kW]	([°C])	[kW]	([°C])	[kW]	([°C])

（記載例の計算式に拠らない場合は、考え方や理由を記載）：

※13：ガスタービン等、外気温により発電出力が変化する場合には、各温度における受電電力を記載（発電出力が最大になる外気温の受電電力記載は必須）

※14：連系地点において、受電電力がない（連系地点からの需要供給のみ）場合は、0を記載

6. 自家消費電力（発電に必要な所内電力を含む）

最大	35 [kW]	(力率 100 [%])
最小 ^{※15}	9 [kW]	(力率 0 [%])

※15：発電の有無に拘わらず必要となる負荷設備の容量を記載

7. サイバーセキュリティ対策

【留意事項】系統連系に際して、サイバーセキュリティ対策の実施、セキュリティ管理責任者を通知いただく必要があるため、その確認をさせていただきます。

下記の対策について、同意の上、□にチェックを反映いただくとともに、セキュリティ管理責任者を記載ください。

対策	☒ 系統連系技術要件に基づいた以下のサイバーセキュリティ対策を実施します。 ・事業用電気工作物（発電事業の用に供するものに限る。）は、電力制御システムセキュリティガイドラインに準拠すること。 ・自家用電気工作物（発電事業の用に供するもの及び小規模事業用電気工作物を除く。）に係る遠隔監視システム及び制御システムは、「自家用電気工作物に係るサイバーセキュリティの確保に関するガイドライン」に準拠すること。 ・上記以外の発電設備等は、以下の対策を講じること。 1：外部ネットワークや他ネットワークを通じた発電設備等の制御に係るシステムへの影響を最小化するための対策 2：発電設備等の制御に係るシステムへのマルウェアの侵入防止対策
セキュリティ管理責任者：	様式1（10）連絡先【申込書に関する連絡先窓口】の記載と同じ

発電設備仕様（回転機）

号発電機 (既設/新設/増設を選択下さい)

1. 全般

(1) 原動機の種類（ガスタービン、風力など）	
(2) コージェネ採用有無	(有無を選択下さい)
(3) 発電機の種類（同期発電機、誘導発電機）	
(4) 発電機台数	[台]

2. 昇圧用変圧器

(1) 定格容量		[kVA]
(2) 定格 1 次電圧 / 2 次電圧	[V] /	[kV]
(3) タップ切替器仕様	タップ数	
	電圧調整範囲	[kV]
(4) %インピーダンス（変圧器定格容量ベース）		[%]

3. 交流発電機

共通事項	容量		[kVA]
	定格電圧		[V]
	定格出力		[kW]
	出力抑制時の最低出力（火力・バイオマスの場合）		[kW]
	力率（定格）	[%]	力率（運転可能範囲）遅れ [%] ～ 進み [%]
	F R T 要件適用の有無		(有無を選択下さい)
	運転可能周波数	[Hz] ～	[Hz]
	連続運転可能周波数	[Hz] ～	[Hz]
	周波数低下時の運転継続時間	0.97pu時（50Hzエリア：48.5/60Hzエリア：58.2 [Hz]）	[分]
		0.96pu時（50Hzエリア：48.0/60Hzエリア：57.6 [Hz]）	[分]
	並列時許容周波数（上限）	設定可能範囲	[Hz] ～
		設定値（50Hzエリア：50.1/60Hzエリア：60.1 [Hz]）	[Hz]
	自動電圧調整装置（AVR）の有無		(有無を選択下さい)
	自動電圧調整装置（AVR）の定数（整定値）		
	出力低下防止機能（下記に該当する場合）		(該当する場合、有無を選択下さい)
	・火力		有の場合 出力低下防止周波数： [Hz]
	・コージェネ（ガスタービン・ガスタービンを除く）		(詳細は様式 5 の 1 2 に記載)
	同期発電機	(a) Xd（同期リアクタンス）	[%]
		(b) Xd'（過渡リアクタンス）	[%]
		(c) Xd''（初期過渡リアクタンス）	[%]
		(d) Tdo'（開路時定数）	[s]
		(e) Tdo''（開路時定数）	[s]
		(f) 慣性定数（発電機+タービン合計値）	[s]
		制動巻線	(有無を選択下さい)
	誘導発電機	(g) x（拘束リアクタンス）	[%]
		限流リアクトル	(有無を選択下さい)
		限流リアクトル容量（限流リアクトル有の場合）	

※ (a)、(b)、(c) または、(g) については必ず記載

【留意事項】

- 異なる仕様の発電機がある場合は、本様式を複写し、仕様毎にご記載ください。
- 異なる種類の電源を併設し連系する場合は、電源種毎に該当する様式 3 を作成し、ご提出ください。
- 系統安定度の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

2026 年 10 月 6 日

発電設備仕様（直流発電設備等）

1～16 号発電機 新設

1. 全般

(1) 原動機の種類（ガスタービン、風力、太陽光など）	系統用蓄電池
(2) 発電機台数（PCSまたは逆変換装置の台数）	16 [台]

2. 昇圧用変圧器

(1) 定格容量	2,400 [kVA]
(2) 定格 1 次電圧／2 次電圧	400-400 [V]／ 6.6 [kV]
(3) タップ切替器仕様	タップ数 5
	電圧調整範囲 6.93-6.765-6.6-6.435-6.27 [kV]
(4) %インピーダンス（変圧器定格容量ベース）	7.0 [%]

3. 直流発電機

直 流 発 電 装 置	直流最大出力	4,112 [kW]
	最高使用電圧	1,000 [V]
	その他特記事項	①発電設備合計（SCADAにて充放電とも制御可能） （放電時）125kW×16台-最小負荷9kW=+1991kW （充電時）-122kW×4台-123kW×12台-35kW=-1999kW ※PCS定格時のST510CS内部消費電力=3kW @45℃ ②蓄電池容量の合計 514kWh×16台=8,224kWh
逆 変 換 装 置 （ イ ン バ ー タ ）	電気方式	三相 3 線式
	定格電圧	400 [V]
	定格出力	125 [kW]
	力率（定格）	>99 [%]
	力率（運転可能範囲）	遅れ 0 [%]～進み 0 [%]
	運転可能周波数	45.0 [Hz]～55.0 [Hz]
	連続運転可能周波数	45.0 [Hz]～55.0 [Hz]
	周波数低下時の運転継続時間	0.97pu時（50Hzエリア：48.5/60Hzエリア：58.2 [Hz]） 10分以上（連続） [分]
		0.96pu時（50Hzエリア：48.0/60Hzエリア：57.6 [Hz]） 1分以上（連続） [分]
	並列時許容周波数（上限）	設定可能範囲 50.0 [Hz]～52.0 [Hz]
		設定値（50Hzエリア：50.1/60Hzエリア：60.1 [Hz]） 50.1 [Hz]
	自動電圧調整装置（AVR）の有無	無
	自動電圧調整装置（AVR）の定数（整定値）	有の場合 整定値： [V] （整定可能範囲： [V]、 [V]刻み）
	主回路方式	自励式（電圧形）
	出力制御方式	電流制御方式
		100%抑制
	絶縁変圧器	無
		（直流分検出レベル [A]
	通電電流制限値・遮断時間	120.0 [%]・300.0 [ms]
	F R T 要件適用の有無	有
	（測定データ）	高周波 （電波障害，伝導障害）対策 電波障害，伝導障害対策あり
	高調波電流歪率	総合 5.0 [%]以下 各次最大 第 5 次 3.0 [%]以下
	その他	力率一定制御

【留意事項】

- 異なる仕様の発電機がある場合は、本様式を複写し、仕様毎にご記載ください。
- 異なる種類の電源を併設し連系する場合は、電源種毎に該当する様式3を作成し、ご提出ください。
- 系統安定度の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

2026 年 10 月 6 日

保護リレー等

保護リレー等

連系用遮断器 その他機器	機器名称	系	製造者	型式	定格容量		遮断容量	動作時間	備考
	遮断器 (VCB) (エネセーバ)	主	三菱電機	VF-13NM-D	7200 [V]	600 [A]	12500 [A]	3 [サイクル]	
		1	三菱電機	TES-GB1-AAA	7200 [V]	200 [A]	1200 [A]	3 [サイクル]	
	V T	主	三菱電機	PD-50HF	6600 [V] /	110 [V]	—	負担 :	50 [VA]
					[V] /	[V]	—	負担 :	[VA]
	C T	主	三菱電機	CD-25NB	300 /5[A]		過電流強度	40倍	
		主			/5[A]		過電流定数	n>10	
							機械的耐電流	12. 5kA / 0. 125s	
	P D	主	オムロン	VOC-1MS2		250 [pF]	Z P D	3810 [V] /	7. 6 [V]
	Z C T					[A]			

保護 リレー 諸元	記号	リレー名称	系	製造者	型式	相数	整定範囲			
	OCR-H (51R)	過電流	主	三菱電機	MOC-A3T-R	2	電流:	0.25-0.5-1-1.5-2-2.5-3-3.5-4-5-6-7-8-9-10-20	瞬時:	LOCK-10-15-20-25-30-35-40-50-60A
							時限:	LOCK-3-3.5-4-4.5-5-6A		52Rにて解列
	DGR (67GR)	地絡方向	主	戸上電機	LTR-P-DOT	1	電流:	0.2~0.8A	電圧:	2~10%
							時限:	0.1~0.8S		PASにて解列
	OVGR (64R)	地絡過電圧	1	オムロン	K2ZC-K2GV-NUC	1	電圧:	LOCK-2.0~30%	時限:	0.1~9.9s (0.1s ステップ)
			2				電圧:		時限:	
						備考:	電圧: 10%、時限: 1.0s			
	DSR (67S)	方向短絡	1				電流:		時限:	
							電圧:		時限:	
						備考:				
			2				電流:		時限:	
							電圧:		時限:	
				備考:						
	OVR (59R)	過電圧	1	Sungrow Power Supply Co., Ltd.	SC125CX	3	電圧:	400.0~560.0V(0.1V Step)	時限:	0.05~14400.00s(0.01 Step)
			2				電圧:		時限:	
						備考:	初期値: 460.0V 1.00s			
	UVR (27R)	不足電圧	1	Sungrow Power Supply Co., Ltd.	SC125CX	3	電圧:	320.0~400.0V(0.1V Step)	時限:	0.05~14400.00s(0.01 Step)
			2				電圧:		時限:	
						備考:	初期値: 340.0V 1.00s			
	OFR (95H)	周波数上昇	1	Sungrow Power Supply Co., Ltd.	SC125CX	1	周波数:	50.04~55.00Hz(0.01Hz Step)	時限:	0.05~14400.00s(0.01 Step)
							備考:	初期値: 51.00 1.00s		
	UFR (95L)	周波数低下	1	Sungrow Power Supply Co., Ltd.	SC125CX	1	周波数:	45.00~49.96Hz(0.01Hz Step)	時限:	0.05~14400.00s(0.01 Step)
							備考:	初期値: 49.00 1.00s		
			2				周波数:		時限:	
							備考:			
	RPR ※ (67P)	逆電力	1				電力:		時限:	
										備考:
			2				電力:		時限:	
							備考:			
	UPR ※ (91L)	不足電力	1				電力:		時限:	
										備考:
			2				電力:		時限:	
							備考:			
単独運転検出要素 (受動: 電圧位相跳躍検出方式)				Sungrow Power Supply Co., Ltd.	SC125CX	1	整定値:	3° ~18°	時限:	0.5s以下
							備考:	初期値: 12°		
単独運転検出要素 (能動: 周波数シフト方式)				Sungrow Power Supply Co., Ltd.	SC125CX	1	整定値:	48.5Hz/51.5Hz	時限:	0.5~1.0s
							備考:	変更不可		

※逆潮流なしの場合

付加機能に関する事項	・電圧上昇抑制機能	有
	・発電機並列時・脱落時の電圧変動抑制機能	無
	・自動負荷遮断装置	無
	・自動同期検定装置	無
		電圧 [V]、周波数差 [Hz]
		位相差 [度]、前進時間 [s]
・その他		力率一定制御

発電設備仕様（二次励磁巻線形誘導機）

号発電機 (既設/新設/増設を選択下さい)

1. 全般

(1) 原動機の種類（風力など）	
(2) コージェネ採用有無	(有無を選択下さい)
(3) 発電機台数	[台]

2. 昇圧用変圧器

(1) 定格容量		[kVA]
(2) 定格1次電圧／2次電圧	[V]／	[kV]
(3) タップ切替器仕様	タップ数	
	電圧調整範囲	[kV]
(4) %インピーダンス（変圧器定格容量ベース）		[%]

3. 交流発電機

(1) メーカー・型式	【メーカー】	【型式】
(2) 電気方式	(電気方式を選択下さい)	
(3) 定格容量		[kVA]
(4) 定格出力		[kW]
(5) 出力抑制時の最低出力（火力・バイオマスの場合）		[kW]
(6) 定格電圧		[kV]
(7) 力率	定格	[%]
	調整範囲	力率設定範囲： [%] ～ [%]
		運転可能範囲 遅れ [%] ～ 進み [%]
		力率設定ステップ： [%]
(8) 定格周波数		[Hz]
(9) 連続運転可能周波数	[Hz] ～ [Hz]	運転可能周波数 [Hz] ～ [Hz]
(10) 周波数低下時の運転継続時間	0.97pu時（50Hzエリア：48.5/60Hzエリア：58.2 [Hz]）	[分]
	0.96pu時（50Hzエリア：48.0/60Hzエリア：57.6 [Hz]）	[分]
(11) 並列時許容周波数（上限）	設定可能範囲 [Hz] ～	[Hz]
	設定値（50Hzエリア：50.1/60Hzエリア：60.1 [Hz]）	[Hz]
(12) 出力低下防止機能（下記に該当する場合）	(該当する場合、有無を選択下さい)	
・火力	有の場合 出力低下防止周波数： [Hz]	
・コージェネ（定格出力60MW未満のガスタービン・ガスタージンを除く）	(詳細は様式5の12に記載)	
(13) 系統並解列箇所	添付 様式5の4 参照	
(14) 自動的に同期がとれる機能の有無	(有無を選択下さい)	
(15) 誘導発電機諸定数	基準容量	[kVA]
	(a) 拘束リアクタンス (X_L)	[%]
(16) 二次励磁装置種類	(a) 主回路方式	(主回路方式を選択下さい)
		(電圧型/電流型 を選択下さい)
	(b) 出力制御方式	(出力制御方式を選択下さい)
		(PWM/PAM（サイリスタ） を選択下さい)
(17) 事故時運転継続（FRT）要件適用の有無	(有無を選択下さい)	
(18) 高調波電流歪率	総合	[%]
	各次最大	第 次 [%]

【留意事項】

- 異なる仕様の発電機がある場合は、本様式を複写し、仕様毎にご記載ください。
- 異なる種別の電源を併設し連系する場合は、電源種毎に該当する様式3を作成し、ご提出ください。
- 系統安定度の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

※記載内容について、虚偽が判明した場合は、申込は無効となる場合があります。

発電設備仕様（逆変換装置）

1～4 号発電機 新設

1. 全般

(1) 原動機の種類（風力、太陽光など）	系統用蓄電池
(2) 台数（逆変換装置またはP C Sの台数）	4 [台]

2. 逆変換装置

(1) メーカー・型式	【メーカー】	Sungrow Power Supply Co., Ltd.	【型式】	SC125CX（ST510CSに内蔵）
(2) 電気方式	三相 3 線式			
(3) 定格容量	(充電側) -125、（放電側）+125 [kVA]			
(4) 定格出力	(充電側:出力制限) -122、（放電側）+125 [kW]			
(5) 出力変化範囲	0 [kW]～		(充電側:出力制限) -122、（放電側）+125 [kW]	
(6) 定格電圧	0.4 [kV]			
(7) 力率（定格）			99%以上 [%]	
(8) 力率（運転可能範囲）	遅れ	0 [%]～ 進み	0 [%]	
(9) 定格周波数				50 [Hz]
(10) 連続運転可能周波数	45.0 [Hz]～	55.0 [Hz]	運転可能周波数※1	45.0 [Hz]～ 55.0 [Hz]
(11) 周波数低下時の運転継続時間※1	0.97pu時（50Hzエリア：48.5/60Hzエリア：58.2 [Hz]）		10（連続）[分]	
	0.96pu時（50Hzエリア：48.0/60Hzエリア：57.6 [Hz]）		1（連続）[分]	
(12) 並列時許容周波数（上限）	設定可能範囲		50.02 [Hz]～	52.0 [Hz]
	設定値（50Hzエリア：50.1/60Hzエリア：60.1 [Hz]）		50.1 [Hz]	
(13) 電圧調整機能	無効電力制御機能、力率一定制御機能			
(14) 自動同期検定機能（自励式の場合）	有			
(15) 系統並解列箇所	添付 様式 5 の 4 参照			
(16) 通電電流制限値・遮断時間	120 [%]・		300 [ms]	
(17) 主回路方式	自励式（電圧形）			
(18) 出力制御方式	電流制御方式			
(19) 事故時運転継続（F R T）要件適用の有無	有			
(20) 高調波電流歪率	総合		5.0 [%]	
	各次最大		第 5 次	3.0 [%]
(21) 発電機の出力特性（風力の場合）	添付 様式 5 の 9 ～ 1 0 参照			
(22) 出力変動対策の方法（風力の場合）	添付 様式 5 の 1 1 参照			
(23) 蓄電池設置（出力変動対策）の有無（風力の場合）※2	（該当する場合、有無を選択下さい）			
(24) ウィンドファームコントローラーの有無（風力の場合）	（該当する場合、有無を選択下さい）			
(25) 蓄電容量	出力	2,000 [kW]	時間	4 [h]

※1：逆変換装置を用いた発電設備等でFRT要件非適用の設備は記載不要
※2：「有」の場合、蓄電池設備仕様および蓄電池システムの諸元を算定するためのシミュレーションに使用した発電データ等の提出が必要となります。
（任意様式）

【留意事項】

- 異なる仕様の逆変換装置がある場合は、本様式を複写し、仕様毎にご記載ください。
- 異なる種別の電源を併設し連系する場合は、電源種毎に該当する様式3を作成し、ご提出ください。
- 電圧変動の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

発電設備仕様（逆変換装置）

5～16 号発電機 新設

1. 全般

(1) 原動機の種類（風力、太陽光など）	系統用蓄電池
(2) 台数（逆変換装置またはP C Sの台数）	12 [台]

2. 逆変換装置

(1) メーカー・型式	【メーカー】	Sungrow Power Supply Co., Ltd.	【型式】	SC125CX（ST510CSに内蔵）
(2) 電気方式	三相 3 線式			
(3) 定格容量	(充電側) -125、（放電側）+125 [kVA]			
(4) 定格出力	(充電側:出力制限) -123、（放電側）+125 [kW]			
(5) 出力変化範囲	0 [kW]～		(充電側:出力制限) -123、（放電側）+125 [kW]	
(6) 定格電圧	0.4 [kV]			
(7) 力率（定格）			99%以上 [%]	
(8) 力率（運転可能範囲）	遅れ	0 [%]～ 進み	0 [%]	
(9) 定格周波数				50 [Hz]
(10) 連続運転可能周波数	45.0 [Hz]～	55.0 [Hz]	運転可能周波数※1	45.0 [Hz]～ 55.0 [Hz]
(11) 周波数低下時の運転継続時間※1	0.97pu時（50Hzエリア：48.5/60Hzエリア：58.2 [Hz]）		10（連続） [分]	
	0.96pu時（50Hzエリア：48.0/60Hzエリア：57.6 [Hz]）		1（連続） [分]	
(12) 並列時許容周波数（上限）	設定可能範囲		50.02 [Hz]～	52.0 [Hz]
	設定値（50Hzエリア：50.1/60Hzエリア：60.1 [Hz]）		50.1 [Hz]	
(13) 電圧調整機能	無効電力制御機能、力率一定制御機能			
(14) 自動同期検定機能（自励式の場合）	有			
(15) 系統並解列箇所	添付 様式 5 の 4 参照			
(16) 通電電流制限値・遮断時間	120 [%]・		300 [ms]	
(17) 主回路方式	自励式（電圧形）			
(18) 出力制御方式	電流制御方式			
(19) 事故時運転継続（F R T）要件適用の有無	有			
(20) 高調波電流歪率	総合		5.0 [%]	
	各次最大		第 5 次	3.0 [%]
(21) 発電機の出力特性（風力の場合）	添付 様式 5 の 9 ～ 1 0 参照			
(22) 出力変動対策の方法（風力の場合）	添付 様式 5 の 1 1 参照			
(23) 蓄電池設置（出力変動対策）の有無（風力の場合）※2	（該当する場合、有無を選択下さい）			
(24) ウィンドファームコントローラーの有無（風力の場合）	（該当する場合、有無を選択下さい）			
(25) 蓄電容量	出力	2,000 [kW]	時間	4 [h]

※1：逆変換装置を用いた発電設備等でFRT要件非適用の設備は記載不要
※2：「有」の場合、蓄電池設備仕様および蓄電池システムの諸元を算定するためのシミュレーションに使用した発電データ等の提出が必要となります。
(任意様式)

【留意事項】

- 異なる仕様の逆変換装置がある場合は、本様式を複写し、仕様毎にご記載ください。
- 異なる種別の電源を併設し連系する場合は、電源種毎に該当する様式3を作成し、ご提出ください。
- 電圧変動の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

負荷設備および受電設備

1. 負荷設備

(1) 合計容量	35 [kW]
(2) 総合負荷力率	100 [%]

2. 受電用変圧器

(1) 定格容量		2,400 [kVA]	
(2) 定格 1 次電圧／2 次電圧		6.6 [kV]／	400-400 [V]
(3) タップ切替器仕様	タップ数	5	
	電圧調整範囲	6.93-6.765-6.6-6.435-6.27 [kV]	
	制御方式	手動	
(4) %インピーダンス (変圧器定格容量ベース)		7 [%]	
(5) 台数		1 [台]	

3. 調相設備※1

(1) 種類		無
(2) 電圧別容量	高圧	
	低圧	
(3) 合計容量		
(4) 自動力率制御装置の有無		無

※1: 「総合負荷力率」に調相設備を含む場合は不要

4. 高調波発生機器 (無)

※高調波発生機器を有する場合には、「高調波抑制対策技術指針 (JEAG9702)」の高調波流出電流計算書を添付してください。

5. 電圧フリッカ発生源 (無) 電圧フリッカ対策 (有)

対策設備の概要 ※電圧フリッカ対策有の場合は資料を添付してください。

電波障害、伝導障害対策あり

6. 特記事項

年 月 日

主 発 電 機 系 伝 達 関 数 ブ ロ ッ ク 図

－ 励 磁 系 －

年 月 日

発電機制御系伝達関数ブロック図
ー ガ バ ナ 系 ー

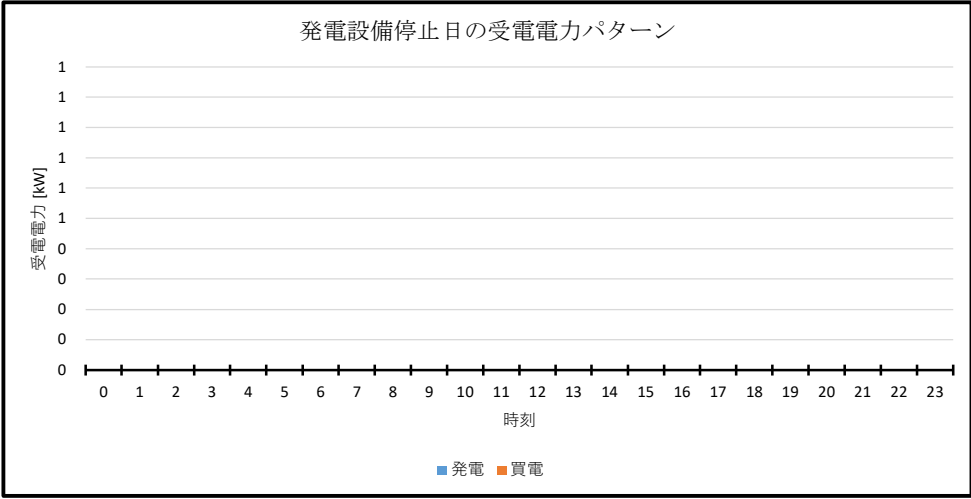
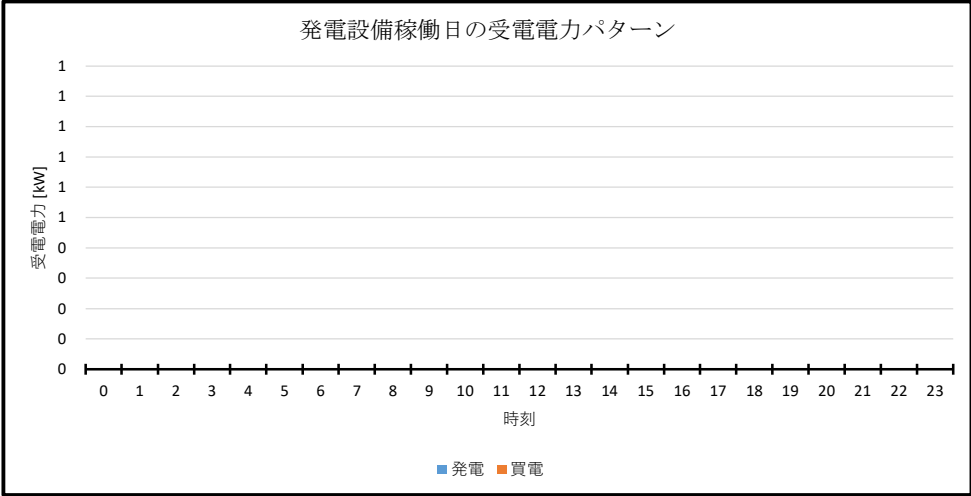
設備運用方法

－ 発電機運転パターン、受電地点における受電電力パターン －

時季 ^{※1}	(選択して下さい)
------------------	-----------

※1：通年のパターンを代表でご記入ください。ただし、必要に応じて季節別のパターンの提出を求める場合もございます。

時刻	稼働 [kW]		停止 [kW]	
	発電	買電	発電	買電
0:00				
1:00				
2:00				
3:00				
4:00				
5:00				
6:00				
7:00				
8:00				
9:00				
10:00				
11:00				
12:00				
13:00				
14:00				
15:00				
16:00				
17:00				
18:00				
19:00				
20:00				
21:00				
22:00				
23:00				



※用紙の大きさは、日本産業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

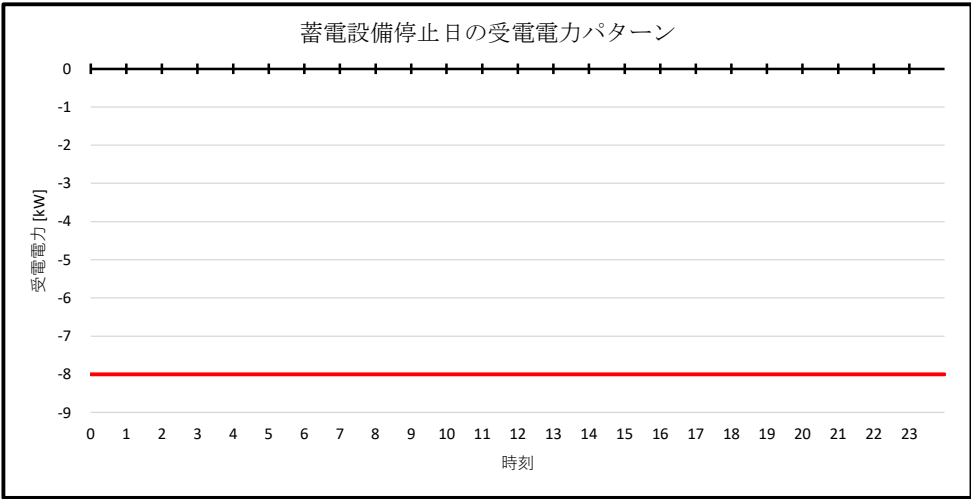
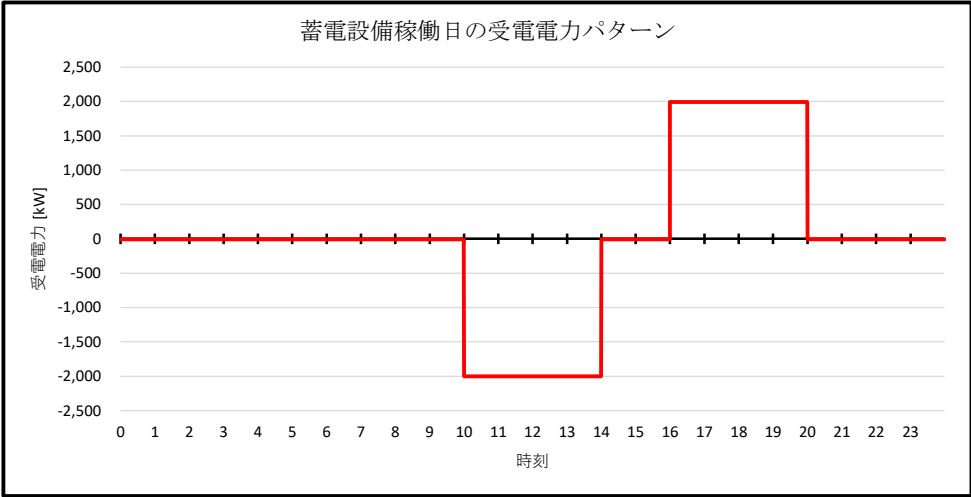
設備運用方法

ー 蓄電池運転パターン、受電地点における受電電力パターン ー

時季 ^{※1}	通 年
------------------	-----

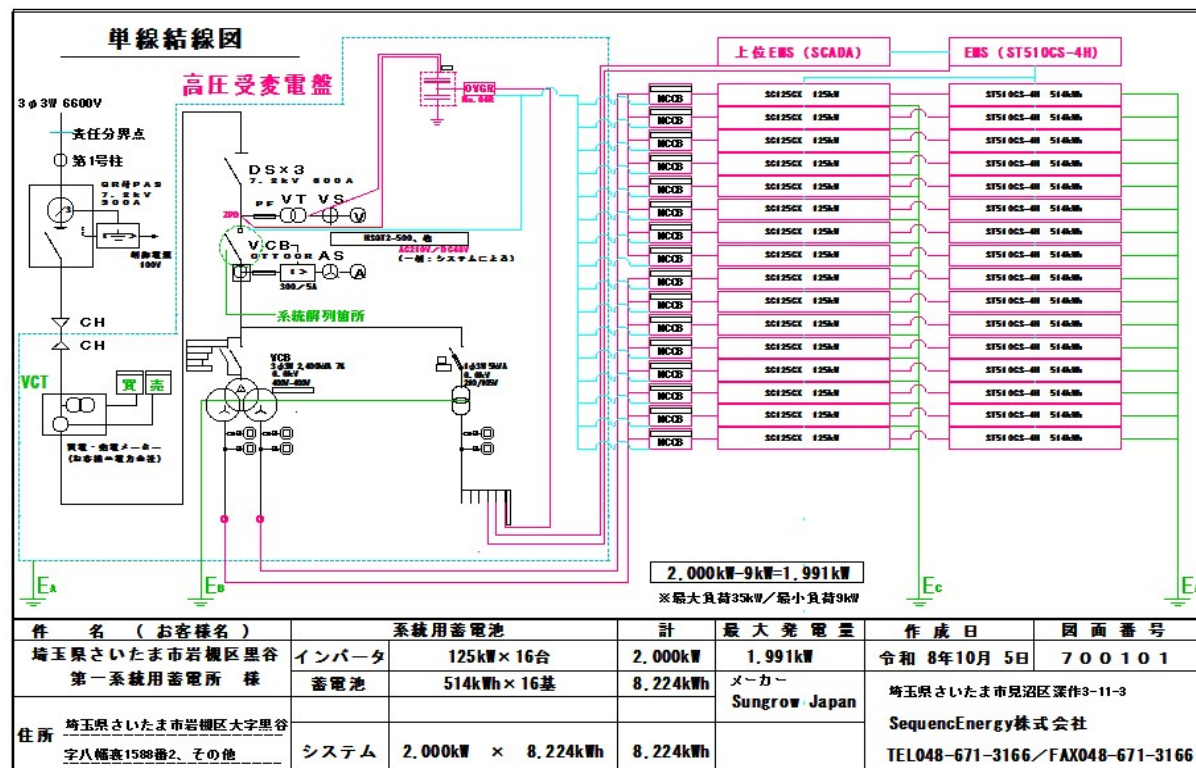
※1：通年のパターンを代表でご記入ください。ただし、必要に応じて季節別のパターンの提出を求める場合もございます。

時刻	稼働 [kW]		停止 [kW]	
	放電	充電	放電	充電
0:00	0	8	0	8
1:00	0	8	0	8
2:00	0	8	0	8
3:00	0	8	0	8
4:00	0	8	0	8
5:00	0	8	0	8
6:00	0	8	0	8
7:00	0	8	0	8
8:00	0	8	0	8
9:00	0	8	0	8
10:00	0	1,999	0	8
11:00	0	1,999	0	8
12:00	0	1,999	0	8
13:00	0	1,999	0	8
14:00	0	8	0	8
15:00	0	8	0	8
16:00	1,991	0	0	8
17:00	1,991	0	0	8
18:00	1,991	0	0	8
19:00	1,991	0	0	8
20:00	0	8	0	8
21:00	0	8	0	8
22:00	0	8	0	8
23:00	0	8	0	8



※用紙の大きさは、日本産業規格A 3サイズまたはA 4サイズとしてください。

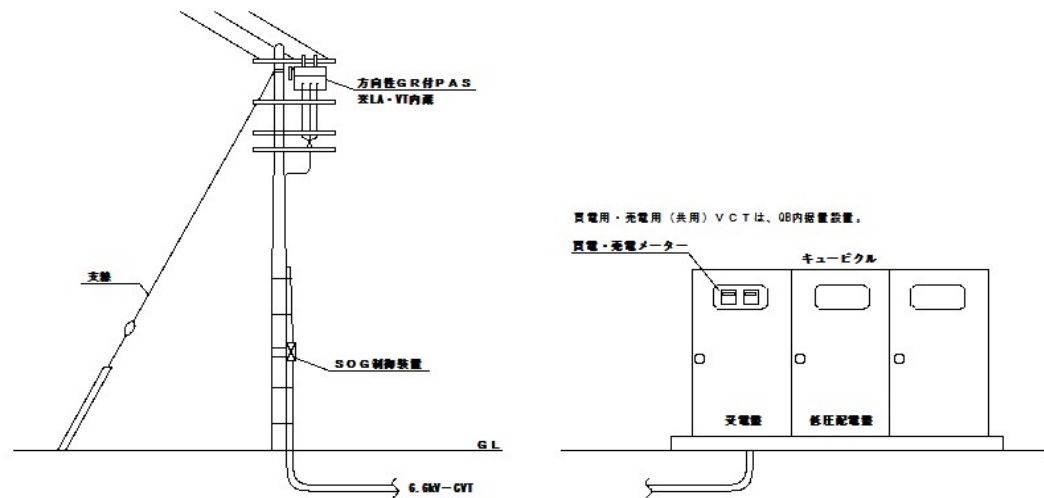
單線結線図



- ・本様式に記載する系統連系保護リレーの「デバイスNo.」や「遮断器No.」については、様式3の3（系統連系保護リレー）で記載した記号の内容と統一するようにお願いします。
- ・本様式に記載する「CT比」や「VT比」については、様式3の3（系統連系保護リレー）で記載した記号の内容と統一するようにお願いします。

設備配置関連

ー 主要設備レイアウト図 ー



※計量器・VCT・通信端末ならびに受電設備の設置場所がわかるように記載
 ※計量器・通信端末設備の設置仕様（壁掛け・自立盤）が決まっていれば記載
 ※通信ケーブルの引込ルートの指定があればわかるように記載

縮 尺

1

/

200

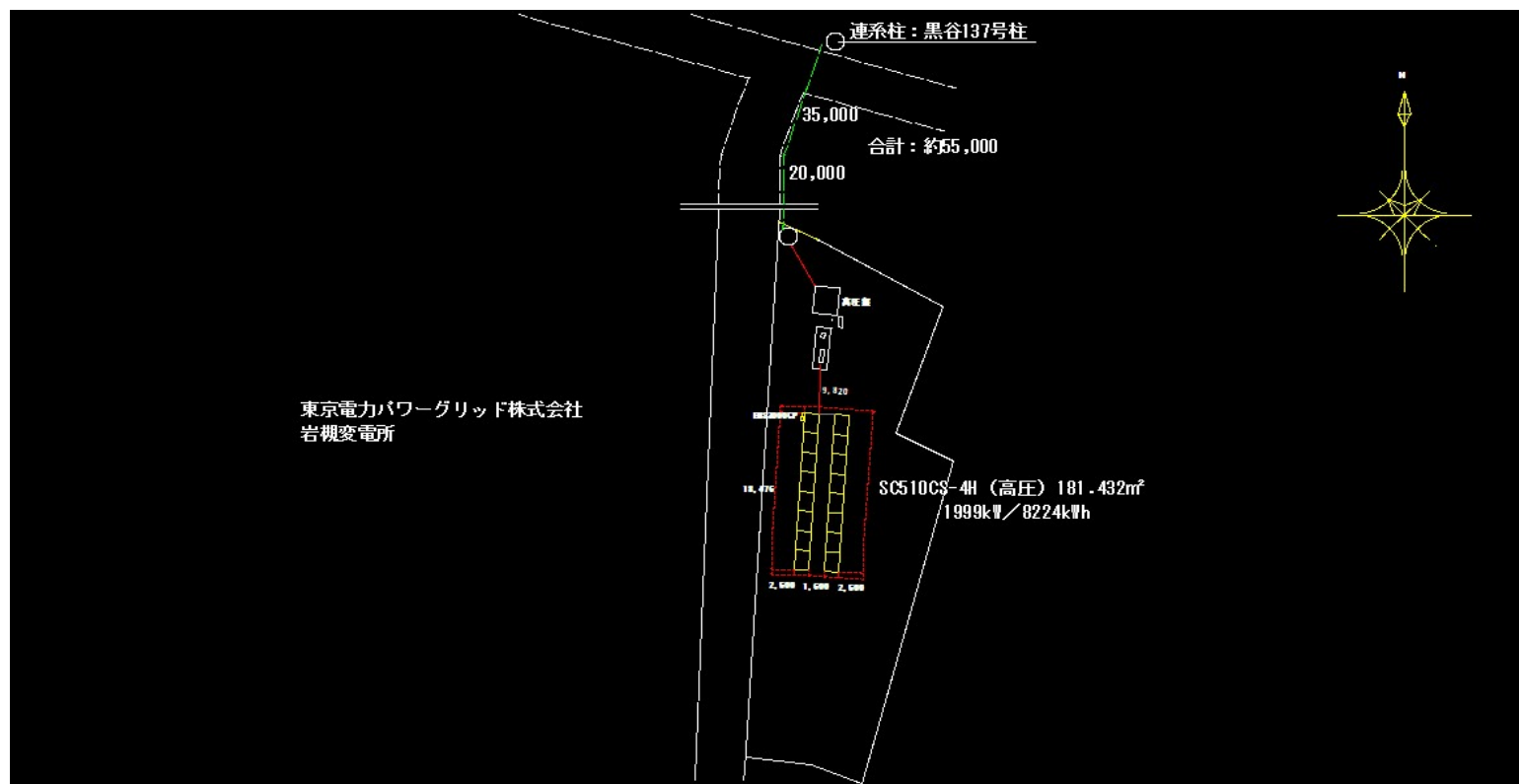
(必ずご記載ください)

※用紙の大きさは、日本産業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

2026 年 10 月 6 日

設備配置関連

— 敷地平面図 —



※計量器・VCT・通信端末ならびに受電設備の設置場所がわかるように記載

※通信ケーブルの引込ルートの指定があればわかるように記載

縮 尺

1 / 1000

(必ずご記載ください)

縮尺は1/25,000か1/50,000としてください。

※用紙の大きさは、日本産業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

発 電 場 所 周 辺 地 図



縮 尺

1 / 2941176

(必ずご記載ください)

縮尺は1/25,000か1/50,000としてください。

※用紙の大きさは、日本産業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

工 程 表

(令和8年10月1日作成)

工事名称 埼玉県さいたま市岩槻区黒谷第一系統用蓄電所棟

SequencEnergy株式会社
埼玉県さいたま市見沼区深作3-11-3
TEL 048-871-3166 FAX 048-871-3166

管理番号	山本	山本
2011.12.31	2012.12.31	2013.12.31
金	日	大
本	本	本
山本	山本	山本

[illegible]

年 月 日

風 力 発 電 の 出 力 特 性
－ 出 力 変 化 速 度 －

年 月 日

風 力 発 電 の 出 力 特 性

－ カットイン／カットアウト特性 －

年 月 日

風 力 発 電 の 出 力 変 動 対 策 の 方 法

年 月 日

火力等の周波数調整機能の仕様・性能

－出力低下防止機能特性－

2026 年 10 月 6 日

土地調査結果

No.	住所※1	用途	所有区分	地目	所有者名※2	対応状況※3	添付書類の有無※4	添付書類の種類
1	埼玉県さいたま市岩槻区大字黒谷字八幡裏1588番2	受電場所	民地	畑	高橋 義一	土地の所有者の同意を得ている	有	土地売買暫定契約書
2	埼玉県さいたま市岩槻区大字黒谷字八幡裏1589番4	受電場所	民地	畑	高橋 義一	土地の所有者の同意を得ている	有	土地売買暫定契約書
3	埼玉県さいたま市岩槻区大字黒谷字八幡裏1596番1	受電場所	民地	畑	黒田 典明	土地の所有者の同意を得ている	有	土地売買暫定契約書
4								
5								
6								
7								
8								
9								

※1 記載いただく住所は、様式1の「(3) 発電設備等設置場所の住所」と整合を図ってください。

なお、発電設備と受電設備の設置場所が異なる場合は、いずれの設置場所も調査の対象となります。

※2 国や自治体の所有の土地の場合は、その名称をご記載ください。

※3 現地確認状況や地権者との交渉予定等について、ご記載ください。

※4 土地に制約がないこと（連系可能な土地であること）を証明する書類（所有者の同意書、土地の購入契約書、土地の借用契約書、土地の権原があることを証する書類、自治体などの使用許可証など）がある場合は、ご提出（任意）ください。

なお、申込時点における書類の提出は任意となりますが、土地に制約がないことを確認するために、必要に応じて一般送配電事業者等から提出を求めることがあります。

※5 欄が足りない場合は項目を網羅の上、別紙で提出してください。